

2 地球温暖化を防ぐために

COOL
CHOICE

地球温暖化を防止しよう！

～クールチョイスで地球温暖化対策～

岡(市)生活環境課 環境政策・消費者行政係

世界では

2015年11月から12月にかけてフランスのパリで開催された気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)で「パリ協定」が合意され、世界全体で地球温暖化対策に取り組んでいます。

地球温暖化による様々な影響を止めるためには、産業革命以前(1850～1900年)に比べて平均気温の上昇を1.5℃に抑える必要があります、そのためには2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラル※を実現する必要があります。

日本では

2020年10月に2050年までにカーボンニュートラルをめざすことが宣言されました。さらに、2030年までに温室効果ガス排出量を46%削減(2013年比)することを表明しています。

市では

2021年に策定した環境総合計画の中で、地球温暖化対策として、市民、事業者、行政が連携・協力し、省エネルギー行動の実践や再生可能エネルギーの利用など、環境にやさしい生活様式や事業活動を実践することで2050年までに市内の二酸化炭素排出量実質ゼロをめざしています。

※カーボンニュートラルとは

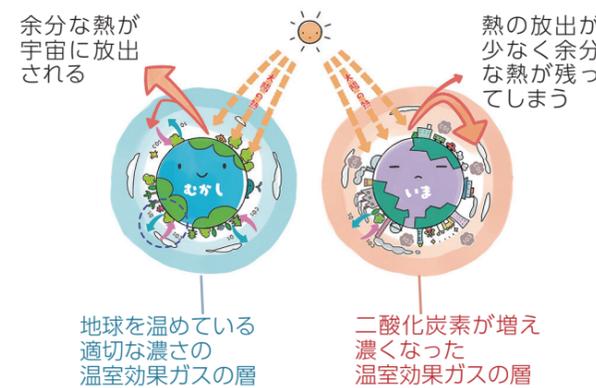
二酸化炭素などの温室効果ガスの「排出量」から、植林などによる「吸収量」を差し引いて合計を実質ゼロにするということです。

排出量 - 吸収量 = ゼロ

3 はじめませんか。クールチョイス

COOL CHOICE (クールチョイス)とは、地球温暖化対策につながる「賢い(COOL)選択(CHOICE)」のことで、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を減らすために国がすすめている国民運動のことです。

私たち一人一人が普段の生活の中で、二酸化炭素などの排出量を減らす「賢い選択」を心がけ実践することで、未来の地球が変わります。



地球温暖化とは、日常生活で排出される温室効果ガス(二酸化炭素やメタンガスなど)が、大気中に増えることが主な原因とされています。地球の表面は、太陽の熱で暖められています。そして、地面から出される熱の一部を大気中に含まれる温室効果ガスが閉じこめることで、生物が住みやすい気温に保たれています。しかし、二酸化炭素などの温室効果ガスが増えると、熱の放出が少なくなり、より多くの熱が大気中に閉じこめてしまい、地球の気温が上昇します。これを「地球温暖化」といいます。

地球温暖化とは

1 地球温暖化による影響

地球温暖化が進むと、農作物の不作や動植物の生息域に変化が出たり、気温変化による海面の上昇など私たちの生活にも様々な影響がでます。また、近年のゲリラ豪雨や大型台風などの異常気象も地球温暖化が原因ではないかといわれています。



市でも、長期的にみると平均気温は確実に上がっており、2018年に最高気温が37.8℃と観測史上最高を記録しました。



このまま対策をとらなかった場合は、2100年頃には最高気温は全国各地で、40℃を超えると予測されています。

だから、地球温暖化を防止することが重要です。

5 三木市もクールチョイスに取り組んでいます

市民セミナーを開催

市立公民館で行われる各種セミナーで地球温暖化の現状や私たち一人一人ができるクールチョイスの内容を説明し、クールチョイスの実践とPRをお願いしています。



食品ロス削減の取組

連携協定を結んでいる大塚食品(株)から、賞味期限が近くなった清涼飲料水を寄附いただき、市のイベントやクールチョイスの啓発などに活用しました。



2アップ・3ダウン運動

上り2階分、下り3階分程度であれば、エレベーターではなく階段を使用することを市役所のエレベーターで掲示しています。職員や来庁者が実施し、消費電力の削減に努めています。



クールビズの取組

気温が上がる6月～9月に職員がノーネクタイや上着を着用しない夏のエコスタイルを実施しています。また、市の公共施設内において、概ね28℃の適正温度で冷房を使用しています。



クールチョイスの取組を発信中

クールチョイスの取り組みは、市民生活部のツイッターや市のフェイスブックで紹介しています。



▲SNSについてはこちら

クールチョイスの賛同登録にご協力をメールを登録すると、地球温暖化対策に関するメールマガジンをお送りします。



▲賛同登録はこちら



4月28日に「三木市COOL CHOICE宣言」を行い、クールチョイスに取り組んでいます。

4 やってみようクールチョイス!

電気などの節約

- ・クールビズやウォームビズで、気候に合わせた服装にする
- ・不要な照明は消す
- ・省エネ性能の高いエアコン、冷蔵庫、LED照明などに買い替える
- ・洗顔や歯磨き中はこまめに水を止める



住居

- ・太陽のエネルギーで発電する太陽光パネルを設置する
- ・省エネルギーフォームで、窓や壁などの断熱をする
- ・蓄電池を設置して、エネルギーを賢く使う
- ・暮らしに緑や花を取り入れる



移動

- ・自動車の運転で急発進や急停止をしないなど、エコドライブをこころがける
- ・近距離の移動は自転車を使う
- ・移動の際には公共交通機関を利用する
- ・環境にやさしいハイブリッド自動車や電気自動車に買い替える



ごみ

- ・マイバッグ、マイボトル、マイ箸などを使う
- ・修理をして長く大切に使う
- ・ごみを分別してリサイクルする
- ・生ごみは水分をよく切ってからごみを出す



ごみの削減については6ページの特集2「ごみの減量と分別の推進」に詳しく紹介しています。

食品ロスに関する取り組み

■ 買い物の時

- ・残っている食品を確認してから買い物に行く
- ・使い切ることのできる量を買う
- ・賞味期限^{※1}と消費期限^{※2}の意味を理解して買う



■ 食事の時

- ・好き嫌いをなくして残さず食べる
- ・食べきれなかった料理は保存して早めに食べる
- ・外食は食べきれぬ量を注文する



■ 調理の時

- ・傷みやすい食品は早めに使う
- ・食べきれぬ量を調理する
- ・今まで捨てていた野菜の茎や皮などを調理する



「もったいない」を意識して、できることから取り組んでみませんか。

※1 賞味期限：品質が変わらずにおいしく食べられる期限 ※2 消費期限：安全に食べられる期限